

国際

こだいら



2004年
No.44

Kodaira International Friendship Association News



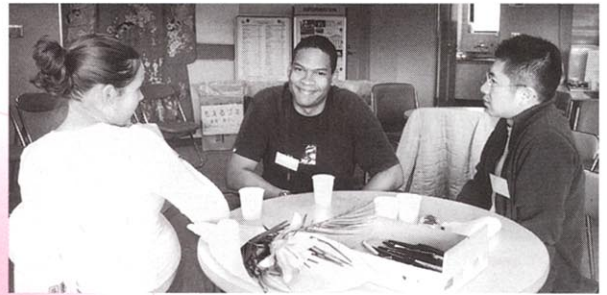
文化紹介と交流の広場

11月3日（水）文化の日に、独立行政法人 国際協力機構（JICA）研修員を招待して、市民や市内在住の外国人と、最高気温22度の久しぶりの暖かい秋の一日を楽しく交流しました。

文化紹介と交流の広場

2004年
11月3日(水)

日本文化を
体験する
JICAの研修員



外国人のための 茶道入門



9月9日から11月18日まで、毎週木曜日、全10回、裏千家のこの道50年以上という松井かつ子先生の指導のもと、外国人を対象に茶道の講習が行われました。

受講生はほとんどがアジアから来日した人ですが、ヨーロッパからの参加者もありました。茶道が初めてという人、すでに経験のある人、様々なので、先生は一人一人にあわせて丁寧に声をかけていらっしゃいました。受講生は時々まごつきながらも、わからないときにはどんどん質問して、とてもリラックスしているようでした。襖の開け閉め、歩き方、座り方、立ち方の指導もありました。茶道はただお茶を点てて頂くだけでなく、一つ一つの動きにも心がこもっているのです。和の心が外国人にも伝わったことでしょう。



談話会

楽しい日本での生活のために

10月20日（水）KIFA会議室で3時から5時まで、小平ユネスコ協会理事長 西村 弘さんを囲んで、外国人、ボランティア計8人で、日本で外国人が楽しく暮らしていくにはどうすればよいかと話し合いました。西村さんは「日本での生活、風習に早く慣れてもらうのがいいと思う」「小平市内の留学生700人のうち600人が一橋大学の交流プラザに住んでいますが、それ以外のところに住むとき困るのは入居条



件の保証人の問題です」と、答えられました。

件を保証人の問題です」と、答えられました。

一人の中国人留学生からは「日本人は中国人をどう思っているか不安です」との声が。それに対して、「日本人はお互いに開放的でないから」「個人個人の問題」「いちいち国籍を考えて付き合うわけではない」「お互いの交流は何ととっても平和であることが大事ですね」などと異口同音にみんなで話し合いました。西村さんは「平和は戦争を起こさない心を持つことがユネスコ精神です」と話されました。



インタビュー INTERVIEW INTERVIEW INTERVIEW

ロシア

第一印象はバレリーナ！

今回はとてもチャーミングなロシアからの留学生
エカテリーナ・シェウエレワさんに
お話を伺いました。

故郷はどちらですか

クラスノダールです。ロシアで一番暖く気候は東京とほぼ同じです。

日本を初めて知ったきっかけは何ですか？

映画「将軍」です。

日本に来てよかったと思うことはありますか？

来てよかったというよりは、来日すること自体が長年の夢だったので、今はその夢が叶ったことが嬉しいです。

来日して、特に強く感じたことは何でしたか？

良い点は、日本人はとても礼儀正しいことです。環境を守ろうという意識も高いですね。戸惑ったのは、道路や部屋が狭いことです。街全体を比べると、ロシアは広くて雑然としていますが、日本はいろいろなものが、公園のように区画ごとにこぎれいにまとまっていて、ディズニーランドに居るみたいな感じです。

同世代の日本の学生のイメージやファッションはどうですか？

男の子が髪の毛を染めていて、女の子みたいでちょっと気持ち悪いです。逆に、女の子のジーンズ姿は、男の子みたいです。ロシアでは、女の子はもう少し服装に可愛らしさを強調します。日本に遊びに来た妹も同じことを言っていました。

大学では何を学んでいるのですか？

研究主題は、「日本人の姓名」です。例えば女の子の

名前の末尾に「子」が多く使われていますよね。これは歴史をさかのぼると、元々は、男性に使われていた文字です。聖徳太子がその代表です。

本当に特殊な、又おもしろいテーマを学ばれているのですか？

気に入っている日本人の名前はありますか？

響きの良さの点から、特に「み」で終わる名前が好きです。

これからもこの研究活動を続けるつもりですか？

はい。来年、大学院へ進学して、もっと専門的に研究を続けていくつもりです。きりがありませんが、とても楽しい作業です。

日本滞在が長くなりそうですね。これからロシアの友達を日本へ誘うとしたら、何を一番アピールしますか？

四季や花の美しさです。私が日本に初めて来たのが秋で、紅葉がとてもきれいだったのが印象に残っています。冬は温泉に雪が舞ったり、春は桜、夏は花火がきれいできっと感動すると思います。

最後に、日本人へのメッセージをお願いします！

日本には沢山の素晴らしい伝統芸能があります。是非その良さを見直して、大切に受け継いでいって欲しいです。



Trick or Treat Happy Halloween

国際こどもクラブ

恒例の国際こどもクラブのハロウィンパーティーが、10月30日(土)午後、KIFA会議室で開かれました。この日、会場は蜘蛛、骸骨、黒猫などで飾られ、ハロウィンのムードたっぷり。仮装をしてきている子供たちもいます。



まず、ハロウィンの由来の説明でパーティーは始まりました。ハロウィンはイギリスで生まれました。万聖節の前夜10月31日に行う行事です。死者の魂がこの世に舞い戻ってくるので、恐ろしい格好をしてそれを追い払うのです。イギリスでは、提灯はかぼちゃではなくかぶで作っていたということです。

さあ、話を聞いたあとはゲームです。英語を使って遊びました。それから工作。よく飛ぶこもりができました。そしてまたゲーム。二つのチームに分かれて闘い、おおいに盛り上がりました。そしておやつタイムの後は、かぼちゃの提灯、ジャック・オ・ランタン作りです。大きなだいたい色のかぼちゃと格闘の末、個性あふれるランタンが仕上がりました。ろうそくに火を灯すと、やわらかい灯りにみんなうっとり。手がぬるぬるして、作るのは大変だったけれど、きれいでできてよかったーとの声。異文化理解講座でお世話になった外国人の参加もあり、とても楽しいパーティーとなりました。



来年の予定

1月	四方山話 (カメルーン予定)
1月22日 (土)	新年交流会
2月	バス旅行
2月26日 (土)	ホームビジット交流会
27日 (日)	ひな祭り
3月	世界の料理と文化紹介 パネルディスカッション

第2回 交流サロン ハロウィンパーティー

10月30日(土)夜、国際こどもクラブのパーティーの後、同じ会場でもうひとつのハロウィンパーティーが開かれました。昨年同様、外国人日本人ともにたくさんの参加がありました。留学生や社会人の参加はもちろんのこと、小さな子供の参加も多く、とても賑やかになりました。参加者はそれぞれ仮装をしています。魔女や黒猫の仮装が多かったのですが、ハロウィンとはかけ離れたアイデアでびっくりさせてくれた人も少なくありませんでした。



軽食をつまみながら、会話ははずみます。じゃんけんゲームや椅子取りゲームなどで、大人も子供も楽しみました。ゲームで勝った人には、賞品が贈られるということもあり、本気で挑む人が多く大激戦でした。あっという間に3時間が過ぎ、記念撮影をして、解散となりました。

「楽しかった」「恥ずかしかった」「新しい友達ができた」「また来年も来たい」etc.様々な声がありました。



編集後記

約10年振りに、編集スタッフに携わることになりました。どうぞよろしくお願い致します。今年は、地球温暖化現象の影響で、世界中、まれに見る出来事に、驚きの連続でした。

日本では、暖冬に始まり、夏は記録的な猛暑、秋と冬が同時に訪れ、改めて、「自然の力」や、「普通の生活が送れるありがたさ」を実感した年でもありました。皆様はいかがでしたか？ 機関紙への御意見、御感想もお待ちしております。来年もさらに明るい記事が書けますように。冬のソナタを聴きながら… (Y.Y)

発行日 平成16年12月1日
発行 小平市国際交流協会 編集 機関紙グループ
〒187-0045
小平市学園西町2-12-22 学園西町地域センター 3階
☎042-342-4488/FAX. 042-347-3003

国際交流協会のインターネットもご利用ください

E-mail : kodaira@tky3.3web.ne.jp Homepage : http://www3.tky.3web.ne.jp/~kodaira/